

2016年6月30日

一般社団法人全国労働金庫協会

## 第88回定時総会および第12回全国労働金庫大会を開催しました ～ろうきん新イメージモデル「高梨 臨」さんにご来場いただきました～

全国労働金庫協会は、6月29日（水）、東京・ホテルラングウッドにおいて、第88回定時総会および第12回全国労働金庫大会を開催しました。



第88回定時総会（左）、第12回労働金庫大会（右）の様子

大会には、連合・神津会長、森金融庁長官、二川厚生労働事務次官、日本銀行・櫛田理事、中央労福協・花井事務局長をご来賓としてお迎えし、労働者福祉事業団体、労働金庫運動中央推進会議、報道機関、全国の労働金庫関係者等257名のご参加をいただきました。

大会では、理事長・中江公人より、冒頭、今般の平成28年熊本地震において被災された皆様へのお見舞いと、被災された皆様が一日も早く平穏な生活を取り戻せるよう、労金業態を挙げて金融サービスを通じた支援に取り組むことを申し上げ、以下のようにご挨拶申し上げます。



挨拶する中江理事長

（挨拶要旨）

勤労者を取り巻く環境は、非正規勤労者の割合が4割に達するなど、所得・雇用環境の不安定化が進んでいる。それとともに所得格差が拡大し、「こどもの貧困」や「奨学金問題」が社会問題化している。高齢者世帯においても、日常生活における悩みや不安として「老後の生活設計」を挙げる割合が50代で7割、60代で6割を超えるなど、将来の生活不安が高まっている。

こうしたなか、労金は、常に勤労者の声に耳を傾け、その思いを感じ取り、労金を本当に必要とする人たち、困っている人たちにこそ、支援の手が届くようにしていかなければならない。勤労者との「生涯取引」推進を核に、会員との連携を一層強化し、会員組合員を中心とした既

存顧客との取引深耕を進め、家計のメイン化や複合的な取引への拡充を図り、また、取引基盤の拡大に向けて、全労済や生協との相互連携を強化しつつ、それぞれの組合員に対して労金利用の推進を図ることで、未組織勤労者、非正規勤労者に対する生活支援を重点課題として取り組んでいきたい。

未組織勤労者に対しては、中小企業勤労者福祉サービスセンターと連携し、労金のトータルな商品・サービスを活用した福利厚生制度の提案、非正規勤労者に対しては、生活に密着した資金ニーズへの対応を進め、あわせて、これら未組織勤労者、非正規勤労者に対しては、厚生労働省と連携して、財形制度の利用拡大に向けた取り組みを進めていきたい。

医療や介護、子育てなど地域社会の抱える課題に対しては、「共助」の役割を担う非営利・協同セクターとのネットワークの構築を積極的に進める。全労済、生協、NPO、中小企業勤労者福祉サービスセンターなどとの連携を強化し、勤労者や地域が抱える課題解決に共同で取り組む仕組みづくりを推進する。このような取り組みを進めるには会員との連携が不可欠であり、ナショナルセンターや労福協、産別等との連携をさらに強化し、勤労者の様々な生活課題の解決に向けた「生活応援運動」に積極的に取り組んでいく。

かつてない低金利環境が続くなか、地域金融機関では、経営統合やこれまでの地盤を超えた近隣地域への進出などの動きが高まっている。これらの影響は当然に各地域の労金へ及び、今後なお一層、他の金融機関との競合が激しくなることが見込まれる。業態を取り巻く環境が一段と厳しさを増すなか、労金は、現在の住宅ローンに依存したビジネスモデルの変革を迫られており、それに対してはスピード感を持って、着実に変革を進めていかなければならない。そのためには、顧客ニーズを踏まえた多様な商品・サービスのラインナップを充実し、住宅ローンの強みを生かしつつ、他のローンや投信、保険の販売といった複合的な取引へと発展させることが、勤労者との生涯取引の推進、同時に労金業態にとっても収益源の多様化、経営基盤の強化につながっていくものと確信している。

労金業態が掲げる「ろうきんの理念」の最初の一節に、「ろうきんは、働く人の夢と共感を創造する協同組織の福祉金融機関」とある。労金にとって、預金を増やし、貸出を伸ばし、利益をあげること自体が目指すべきゴールではなく、働くすべての人に、組合のない中小企業で働く人にも、非正規勤労者にも、退職者や求職者にも、最も身近で信頼される金融機関を目指して、単に量的拡大を図るのではなく、あらゆる面において一顧客に対する商品・サービスの提供はもとより、顧客対応や人材、CSR等においても一より質の高い金融機関を目指さなければならない。

私たちがこれから進むべき道には、確かに多くの困難な課題が待ち受けている。だからこそ、内に向かうのではなく、外に向かって、リスクを取ることに躊躇せず、果敢に新しい課題に挑戦していかなければならない。こういうときこそ、業態の創意工夫と英知を結集し、労金らしく、働く人々に寄り添い、その社会的役割・使命をしっかりと果たしてまいりたい。

以 上

大会後に、2016年4月よりろうきん業態の新イメージモデルとなった「高梨 臨」さんが駆けつけられ、華を添えていただきました。



中江理事長にお祝いのお花を渡す高梨さん



挨拶をする高梨さん

〈 高梨さんのご挨拶 〉

本日は、大会のご開催、おめでとうございます。

私なりに〈ろうきん〉を盛り上げていけるように頑張っまいりますので、是非、応援していただけたらうれしいです。

〈ろうきん〉は働く方々に対して様々な商品、サービスがたくさんありますので、より多くの方に知って頂けるよう、私も皆さまと一緒に頑張りたいと思います！

高梨 臨さんプロフィール

- 1988年12月17日生まれ
- 趣味：バドミントン、読書、将棋、音楽鑑賞  
特技：書道
- 主な出演歴など

〈TVドラマ〉

- 2016年 テレビ朝日「不機嫌な果実」竹田久美役
- 2016年 日本テレビ「ヒガンバナ〜警視庁捜査七課」伊東凜役
- 2015年 フジテレビ「5→9〜私に恋したお坊さん〜」山淵百絵役
- 2014年 NHK連続テレビ小説「花子とアン」醍醐亜矢子役

〈映画〉

- 2016年公開予定「種まく旅人〜夢のつぎ木〜」主演・片岡彩音役

